

日本文化委員会 「昔話と日本の歌の集い」

12月4日（日曜日）、日本文化委員会（山本昭子委員長）の企画行事「日本の昔話と歌の集い」を行いました。プログラムは以下のように進行しました。

1. 「日本の昔ばなし」を読みましょう。
2. 「日本の昔ばなし」を聞きましょう。
3. 「日本の歌」を歌いましょう。

1では、学習者のフィリピン女性2名が「浦島太郎」の音読に挑戦しました。

2では、日本文化委員会メンバーである岩波玲子さんと笠原好子さんが各々「鶴の恩返し」と「雪女」を朗読しました。

3では、山本委員長の音楽仲間である砂田貢さんの叙情歌を楽しみました。

そして、特別参加のブラジルの子供たちが歌で会を盛り上げてくれました。

（事務局 稲谷）



参加者はブラジルの子供たちも含め 60 余名の多数にのぼりました。子供たちはお行儀よく、少々緊張して開会を待っているところです。

また、美しい手作り絵本を寄付してくださった野中行雄様（野中デザイン工房）、折り紙を作ってくくださった皆様、そしてご参加の皆様、ありがとうございました。



アルプス学園（南アルプス市）の子供たちが特別出演。テンポの良い曲を踊りながら楽しそうに歌ってくれました。じゃんけん大会で勝った子供たちに手作り絵本をプレゼントしました。ただし、子供たちにとって、プログラム後半の日本語による朗読や抒情歌は少々難しかったようです。



二人は日本語を学び始めたばかりです。平仮名で書かれた「浦島太郎」を何度も練習して、マイクを使わずに大きな声で発表していただきました。二人が読んでいる本も野中様のご寄付によるものです。

なお、机の上に並んでいるのは折り紙です。実に精巧に折られています。これも希望者にプレゼントしました。



写真中央が砂田貢さんです。初めに参加者一同で「ふじの山」（頭を雲の上に出し・・・）を歌い、続いて朗々たる叙情歌が会場に響きました。曲目は中高年に懐かしい「芭蕉布」、「出船」など7曲でした。ところで、20代女性が「ふじの山」を「初めて聞いた！」と言うのに接し、時代の流れを感じたものでした。

笠原好子

私は「雪女」を朗読しました。野中さんは高度な印刷技術と製本の趣味をお持ちで、絵本を1ページめくるごとにありがたく思いました。また、情愛のこもった砂田さんの歌声は心に染み通る思いでした。そして、全員による合唱や、子供たちの元気な歌声やじゃんけん大会など、皆さんと楽しく過ごすことができ、思い出に残る一日になりました。